

## 観望会のご案内

### 札幌市青少年科学館

問い合わせ:011-892-5004(科学館天文係)

#### ★昼間の星をみよう

**日程** 土曜日 14:30~15:00  
(受け付け13:30~1階エントランス)

**場所** 科学館屋上天文台  
**観望対象** 金星やカペラ、アークトゥルス  
**定員** 先着15名

#### ★科学館天体観望会

**日程** 8月6日(土)20:00~21:30

**場所** 科学館駐車場  
**観望対象** 火星、土星、夏の星座

#### PICK UP!

#### ★さっぽろ星まつり★

**日程** 9月3日(土)、4日(日)16:00~21:00

**場所** さっぽろさとらんど  
1年に1度の星のおまつり!  
望遠鏡で星を見たり、天文ゲームに  
参加しましょう!

### 札幌市天文台

問い合わせ:011-511-9624(札幌市天文台)

#### ★昼間公開

**日程** 火曜日 10:00~12:00  
水曜日~日曜日 10:00~12:00、14:00~16:00

**観望対象** 太陽

#### ★夜間公開

**日程**  
●7月 20:00~22:00  
①8日(金)9日(土)10日(日)  
②29日(金)30日(土)31日(日)  
**観望対象** 火星、土星、春から夏の星座  
●8月 20:00~22:00  
①5日(金)6日(土)7日(日)  
②19日(金)20日(土)21日(日)  
**観望対象** 火星、土星、夏の星座  
③21日(日)22日(月)  
**観望対象** 夏から秋の星座



# プラネタリウム利用案内

プラネタリウムの内容は、職員による星空生解説 + プラネタリウム番組 の計50分間です。

〔おばけのマーブル〕・〔ほしをつかまえたおうじ〕は、計30分間  
職員による星空の生解説と、ドーム全体に広がる映像作品をお楽しみください。

※夏の特別展期間(7月23日~8月21日)は、土日祝スケジュールとなります。

## ●プラネタリウム入場時刻(7・8月)

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
7月	平日 9:10 (団体専用) ※内容は団体の希望による	10:25 (団体優先) ほしをつかまえたおうじ ※内容は団体の希望による	11:40 (団体専用) ※内容は団体の希望による	13:00 ほしをつかまえたおうじ	14:15 僕らもみんな宇宙人!?	15:30 今日の星空
	土・日・祝 9:40 僕らもみんな宇宙人!?	10:50 おばけのマーブルとゆめのとびら	12:00 ダークユニバース	13:15 ほしをつかまえたおうじ	14:30 僕らもみんな宇宙人!?	15:45 今日の星空
8月	平日 9:10 (団体専用) ※内容は団体の希望による	10:25 (団体優先) ほしをつかまえたおうじ ※内容は団体の希望による	11:40 (団体専用) ※内容は団体の希望による	13:00 ほしをつかまえたおうじ	14:15 ダークユニバース	15:30 今日の星空
	土・日・祝 9:40 ワク・ドキ!探検☆大宇宙 -ガリレオとめぐる太陽系の旅-	10:50 ほしをつかまえたおうじ	12:00 今日の星空	13:15 ダークユニバース	14:30 ワク・ドキ!探検☆大宇宙 -ガリレオとめぐる太陽系の旅-	15:45 今日の星空

## プラネタリウム番組

<p><b>対象:ファミリー</b></p> <p>『おばけのマーブルとゆめのとびら』</p> <p>「おばけのマーブル」がプラネタリウムにやってきた!マーブルが星のお勉強...と思いきや!カワイイ冒険のはじまり!</p>	<p><b>対象:小学生以上</b></p> <p>『ワク・ドキ!探検☆大宇宙 -ガリレオとめぐる太陽系の旅-』</p> <p>はじめて望遠鏡を使って星の世界を観察したガリレオ・ガリレイ。彼が案内役となり、太陽や8つの惑星、小惑星、オールドの雲など太陽系をめぐる旅に出發します。</p>	<p><b>対象:一般</b></p> <p>『ダークユニバース』</p> <p>見えないけれど確実にそこにある、ダークマターとダークエネルギー。宇宙の姿を形作り、これからの宇宙の運命を握っている謎の存在であるこれらにスポットをあて、宇宙の謎に迫る!</p>
<p><b>対象:小学生以上</b></p> <p>『僕らもみんな宇宙人!』</p> <p>新機器ケイロンⅢの化身とサイエンジャーが、宇宙の大冒険!星の一生や宇宙の広がり...宇宙の秘密にせまる!!</p>	<p><b>対象:ファミリー</b></p> <p>『ほしをつかまえたおうじ』</p> <p>「ほしにねがいをいえばゆめがかなう」おうじはほしをつかまえて、なにをおねがいでいいのでしょうか。札幌在住の絵本作家そらさん原作のおはなし。</p>	<p><b>対象:一般</b></p> <p>『今日の星空』</p> <p>全編職員による生解説。当日の星空や旬の話題をたっぷりお届けします。職員によってお話の内容が変わります。約2ヶ月毎に変わる「テーマ解説」として、この時期に注目される流れ星についても紹介します。</p>

※投影の中止または内容が変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。  
※開演の5分前に発券を終了いたします。開演後は入場できません。(各回定員200名)  
※Tモード付き補聴器で、音声を拾うことができます。

**休館日** 7/4・11・19・20、8/22・29・30

**観覧時間** 5月~9月:9:00~17:00  
10月~4月:9:30~16:30  
(入館は閉館の30分前まで)

観覧料	大人	中学生以下	※( )は、65歳以上、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示の方。
展示室	700円(500円)	無料	
プラネタリウム	500円(360円)	無料	

— 科学の今と未来をつなぐ —  
**札幌市青少年科学館**  
Sapporo Science Center  
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生涯学習振興財団)

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目 2-20  
TEL:011(892)5004 FAX:011(894)5445 ホームページ: <http://www.ssc.slp.or.jp/>

## 交通案内



# 星空普及券

2016年  
**7・8**月号  
vol.66



今回の表紙写真は  
『はくちょう座  
サドル周辺の散光星雲!』

撮影者:札幌市青少年科学館 天文係 林 美輝  
撮影日:2016年6月6日 1:25~  
撮影地:新篠津村  
データ:Canon EOS6D天体用改造、FSQ106ED+645レデューサー (380mmF3.6)  
ISO1600 2分露出?20枚 ステライメージにて画像処理

科学戦隊  
サイエンジャー

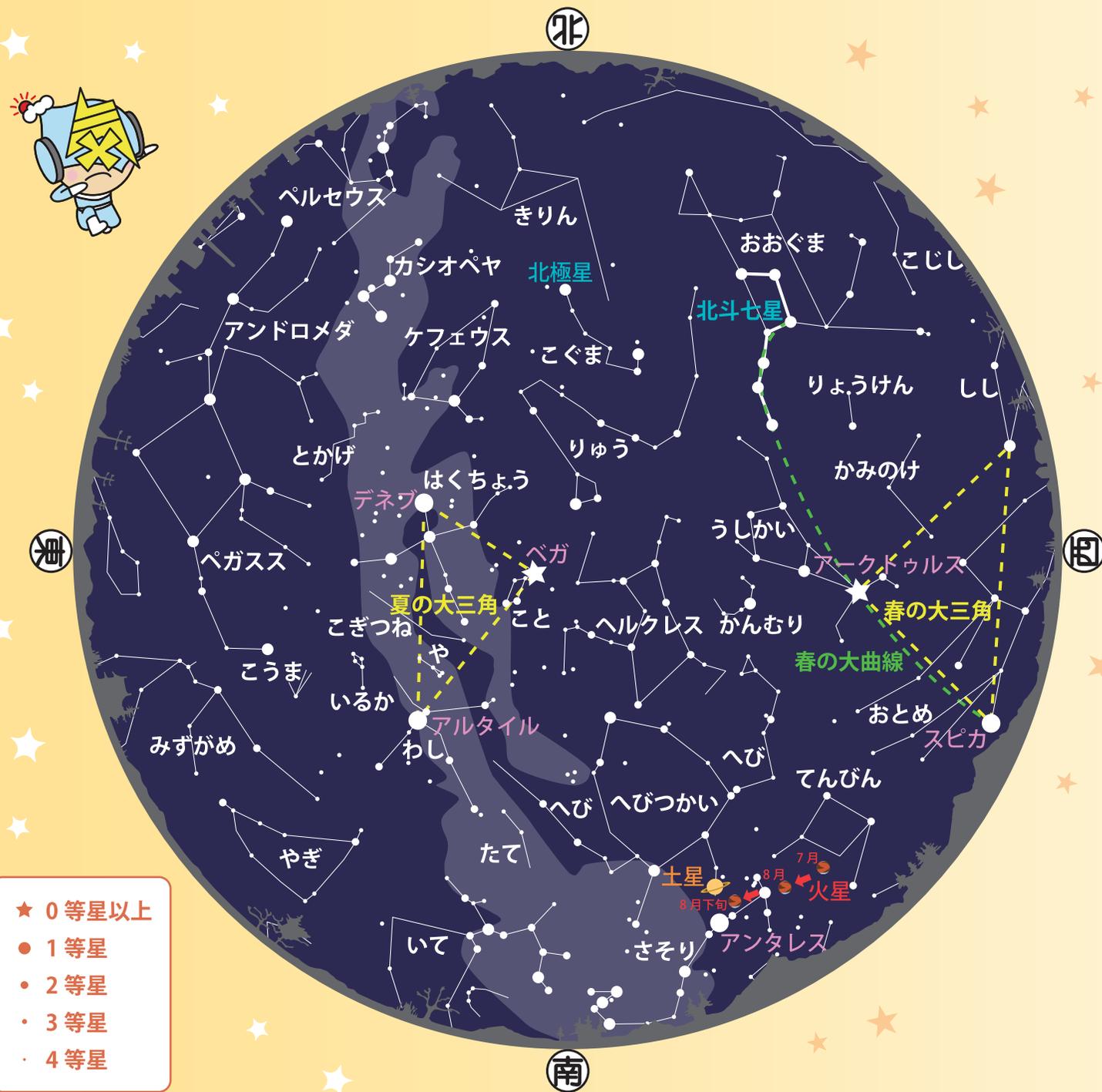


## 流れ星を見つけよう!

みなさんは流れ星を実際に見たことはありますか?じつは真っ暗な場所では1時間に数個の流れ星が現れます。そして年に何回か、いつもより多くの流れ星が出現する天文現象(流星群)があります。8月12日前後には、ペルセウス座流星群の活動がピークを迎えます。明るい月が沈んだあと、夜半~夜明けまでが見やすいチャンス。すこし夜更かしをして、流れ星探しにチャレンジしてみませんか。



空全体を  
見てみてね!



- ★ 0等星以上
- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

この時季、空の高い所には、明るい3つの星を見つけることができます。最も明るい星はこと座のベガ。その次に明るい星はわし座のアルタイル。3つの中では一番暗い星はくちょう座のデネブです。この3つの星をつないでできる大きな三角形を「夏の大三角」といいます。他にも、南の空低い所には夏を代表する星座のさそり座を見つけることができます。赤く輝く星は一等星のアンタレスでさそり座の心臓部分にあります。

### 星図の使い方

①星図は空にかざして使います。

②空にかざしたら、自分の向いている方向と星図の方角とを合わせて星を探しましょう。

南を向いている場合

東を向いている場合

北を向いている場合

西を向いている場合

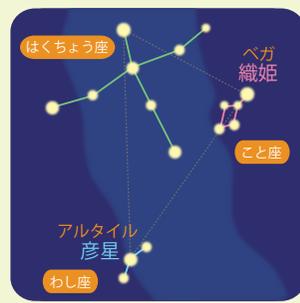
星図のように見える時刻	7/1 23時ごろ	8/1 21時ごろ
月のかたち	○ 満月 7/20、8/18	● 下弦 7/27、8/25
	● 新月 7/4、8/3	● 上弦 7/12、8/11

## 七夕



日本の伝統行事「七夕」。七夕伝説の登場人物は、夏の大三角をつくる星たちが関係しています。こと座のベガが「織姫」、わし座のアルタイルが「彦星」、そしてはくちょう座は2人の中をとりもつ「カササギ」として語り継がれています。

ちなみに彦星は牛飼いの仕事をしていたため、アルタイルの両隣に輝く星は、彦星がつれていた牛の姿だと言われています。星探しの目印にもなりますね！



### 相合傘にも見えるね



## せいぞのおはなし

## さそり座



〈さそり座のおはなし〉  
 狩人オリオン（オリオン座は冬が見頃）をこらしめるために、女神ヘラが放ったとされているのがこのさそり。心臓の部分では、赤いアンタレスが輝いており、日本では、「酒酔い星」や「梅星（干し）」と呼ばれることもあったのだとか。2016年は、火星と土星がアンタレスの近くで輝きます。特に8月24日は、火星がアンタレスに近づきますので、どちらの方がより赤く見えるか、比べてみてはいかがでしょうか。

〈みつけかた〉  
 赤く明るい星、アンタレスを見つけたら、さらに周りの星を結んで、アルファベットの「J」のような形をつくりましょう。



7月…21:00ごろ 南の空  
 8月…20:00ごろ 南～南西の空